

## 産業廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名	
施設名称	
設置場所	
問合せ先	

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「法」という。）の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

（産業廃棄物処理施設の維持管理等）

法第十五条の二の三第二項 次の産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画及び当該産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報であって環境省令で定める事項について、環境省令で定めるところにより、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

### 1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項	別添のとおり
--	--------

### 2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

（公表すべき維持管理の状況に関する情報）

第十二条の七の二 法第十五条の二の三第二項の環境省令で定める事項は、次の各号に掲げる施設の種類に応じ、当該各号に定める事項とする。

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第七号	安定型の産業廃棄物の最終処分場	以下のとおり





一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下				
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下				
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下				
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下				
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下				
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、電気伝導率及び塩化物イオンについては、この限りでない。

### 埋立処分開始前（周縁井戸B）

（状況： 年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。				
総水銀	一リットルにつき〇・〇〇〇五ミリグラム以下				
カドミウム	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				
鉛	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				
六価クロム	一リットルにつき〇・〇五ミリグラム以下				
砒素	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				
全シアン	検出されないこと。				
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。				
トリクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇三ミリグラム以下				
テトラクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下				
ジクロロメタン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下				
四塩化炭素	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下				

一・二ジクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇四ミリグラム以下			
一・一ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下			
シス一・二ジクロロエチレン	一リットルにつき〇・〇四ミリグラム以下			
一・一・一トリクロロエタン	一リットルにつき一ミリグラム以下			
一・一・二トリクロロエタン	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下			
一・三ジクロロプロペン	一リットルにつき〇・〇〇二ミリグラム以下			
チウラム	一リットルにつき〇・〇〇六ミリグラム以下			
シマジン	一リットルにつき〇・〇〇三ミリグラム以下			
チオベンカルブ	一リットルにつき〇・〇二ミリグラム以下			
ベンゼン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下			
セレン	一リットルにつき〇・〇一ミリグラム以下			

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

最終処分場の周縁の地下水の汚染の有無の指標として電気伝導率及び塩化物イオンの濃度を用いることが適当でない最終処分場にあつては、電気伝導率及び塩化物イオンについては、この限りでない。

### 埋立処分開始後（周縁井戸 A 又は地下水集排水設備）

（状況：平成30年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0005mg/1 未満
総水銀	1リットルにつき0.0005ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0005mg/1 未満
カドミウム	1リットルにつき0.01ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
鉛	1リットルにつき0.01ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
六価クロム	1リットルにつき0.05ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.005mg/1 未満
砒素	1リットルにつき0.01ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
全シアン	検出されないこと。	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
トリクロロエチレン	1リットルにつき0.03ミリグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満

テトラクロロエチレン	1リットルにつき 0.01 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
ジクロロメタン	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
四塩化炭素	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
一・二・ジクロロエタン	1リットルにつき 0.04 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1 未満
一・一・一・ジクロロエチレン	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
シス一・二・ジクロロエチレン	1リットルにつき 0.04 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.004mg/1 未満
一・一・一・トトリクロロエタン	1リットルにつき 1 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.1mg/1 未満
一・一・二・トトリクロロエタン	1リットルにつき 0.06 ミグラム以下	上流	0.002mg/1 未満	30年7月9日	0.0006mg/1 未満
一・三・ジクロロプロペン	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1 未満
チウラム	1リットルにつき 0.06 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1 未満
シマジン	1リットルにつき 0.03 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
チオベンカルブ	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
ベンゼン	1リットルにつき 0.01 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
セレン	1リットルにつき 0.01 ミグラム以下	上流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

### 埋立処分開始後（周縁井戸 B）

（状況：平成30年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る地下水を採取した場所	水質検査に係る地下水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0005mg/1 未満
総水銀	1リットルにつき 0.005 ミグラム以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.00005mg/1 未満

カドミウム	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1未満
鉛	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
六価クロム	1リットルにつき0.05ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.005mg/1未満
砒素	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
全シアン	検出されないこと。	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1未満
トリクロロエチレン	1リットルにつき0.03ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
テトラクロロエチレン	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
ジクロロメタン	1リットルにつき0.02ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1未満
四塩化炭素	1リットルにつき0.002ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1未満
一・二・ジクロロエタン	1リットルにつき0.004ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0004mg/1未満
一・一・一・ジクロロエチレン	1リットルにつき0.02ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1未満
シス一・一・二・ジクロロエチレン	1リットルにつき0.04ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.004mg/1未満
一・一・一・一・トリクロロエタン	1リットルにつき1ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.1mg/1未満
一・一・一・二・トリクロロエタン	1リットルにつき0.006ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1未満
一・三・ジクロロプロペン	1リットルにつき0.002ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1未満
チウラム	1リットルにつき0.006ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1未満
シマジン	1リットルにつき0.003ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1未満
チオベンカルブ	1リットルにつき0.02ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1未満
ベンゼン	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満
セレン	1リットルにつき0.01ミigram以下	下流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

**埋立処分開始後（浸透水採取設備）**

（状況：平成30年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日）

地下水の水質検査	基準	水質検査に係る浸透水を採取した場所	水質検査に係る浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
アルキル水銀	検出されないこと。	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0005mg/1 未満
総水銀	1リットルにつき0.0005ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.00005mg/1 未満
カドミウム	1リットルにつき0.01ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
鉛	1リットルにつき0.01ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
六価クロム	1リットルにつき0.05ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.005mg/1 未満
砒素	1リットルにつき0.01ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
全シアン	検出されないこと。	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
ポリ塩化ビフェニル	検出されないこと。	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
トリクロロエチレン	1リットルにつき0.03ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
テトラクロロエチレン	1リットルにつき0.01ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
ジクロロメタン	1リットルにつき0.02ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
四塩化炭素	1リットルにつき0.02ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1 未満
一・二ジクロロエタン	1リットルにつき0.004ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0004mg/1 未満
一・一・一ジクロロエチレン	1リットルにつき0.02ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
シス一・一・二ジクロロエチレン	1リットルにつき0.004ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.1mg/1 未満
一・一・一・一トリクロロエタン	1リットルにつき1ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1 未満
一・一・二トリクロロエタン	1リットルにつき0.06ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1 未満
一・三ジクロロプロペン	1リットルにつき0.002ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0002mg/1 未満
チウラム	1リットルにつき0.006ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0006mg/1 未満



シマジン	1リットルにつき 0.003 ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.0003mg/1 未満
チオベンカルブ	1リットルにつき 0.02 ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.002mg/1 未満
ベンゼン	1リットルにつき 0.01 ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満
セレン	1リットルにつき 0.01 ミグラム以下	中流	30年6月26日	30年7月9日	0.001mg/1 未満

「検出されないこと。」とは、第三条の規定に基づき環境大臣が定める方法により検査した場合において、その結果が当該検査方法の定量限界を下回ることをいう。

浸透水の水質等に照らして当該最終処分場の周縁の地下水の汚染が生ずるおそれがないことが明らかな項目については、協議の上、減ずることができる。

**埋立処分開始後、生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について一月に一回以上測定し、かつ、記録すること。**

(状況： 年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日)

	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量
4月				
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月				

**埋立処分終了後、生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量について三月に一回以上測定し、かつ、記録すること。**

(状況： 平成 30 年度分 公表の期限：測定、試験又は水質検査の結果の得られた日の属する月の翌月の末日)

	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した場所	水質検査に係る地下水又は浸透水を採取した年月日	水質検査の結果の得られた年月日	水質検査の結果
				生物化学的酸素要求量又は化学的酸素要求量

1回目	桑木	30年5月15日	30年5月16日	0.5mg/1未満
2回目	桑木	30年10月9日	30年10月12日	0.5mg/1未満
3回目	桑木	30年12月17日	30年12月20日	0.5mg/1未満
4回目	桑木	30年2月27日	30年2月28日	0.5mg/1未満

へ 最終処分基準省令第二条第二項第二号ニ及びへの規定による措置に関する次に掲げる事項

(状況： 年度分 公表の期限：措置を講じた日の属する月の翌月の末日)

項 目	原因の調査	措置を講じた年月日	措置の内容
地下水等検査項目に係る水質検査の結果、水質の悪化（その原因が当該最終処分場以外にあることが明らかであるものを除く。）が認められた場合			

(状況： 年度分 公表の期限：措置を講じた日の属する月の翌月の末日)

項 目	最終処分場への産業廃棄物の搬入及び埋立処分の中止	措置を講じた年月日	措置の内容
水質検査の結果、地下水等検査項目のいずれかについて当該地下水等検査項目に係る基準に適合していないとき。			
水質検査の結果、生物化学的酸素要求量が一リットルにつき二十ミリグラムを超えているとき、又は化学的酸素要求量が一リットルにつき四十ミリグラムを超えているとき。			